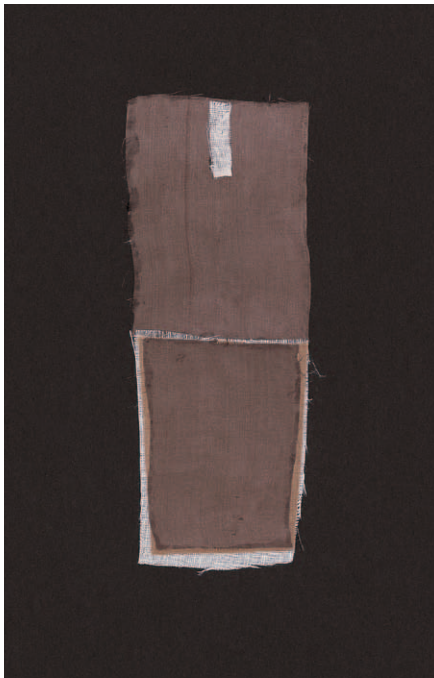


絵描きの顔には、
本当に、満足そうな微笑みが残っていました。





村山亜土作『夜の絵』とともに

柚木沙弥郎展 Yunoki Samiro

2012年4月7日(土)～6月10日(日)

神奈川県立近代美術館 鎌倉別館 The Museum of Modern Art, Kamakura Annex

今年90歳を迎える染色作家、柚木沙弥郎ゆのき さみろうの新作を含む展覧会です。柚木は1922年、東京・田端に生まれました。祖父・玉郎は南画家、また父・久太は洋画家と芸術的な環境に育ち、東京大学で美学美術史を学びますが、第二次世界大戦が勃発し、学徒出陣しました。復員後、父祖の郷里である倉敷の大原美術館に勤めた柚木はそこで、柳宗悦らの提唱する「民藝」に出会い、芹沢銈介せりざわけいすけに師事するなかで染色の道を歩み出しました。しかし「民藝」を基点としながらも、柚木の世界には型にとらわれない、自由な精神の飛翔ともいべきユーモラスな軽みを感じられるでしょう。長年の制作を経て到達した鮮やかな色彩と躍動する形の調和の世界――。

本展では型染布とあわせて、作家が精力的に取り組んできた本の仕事も紹介いたします。村山亜土あど(1925-2002)は画家・劇作家・演出家の村山知義と詩人・童話作家の篝子の長男として東京に生まれた児童劇作家です。柚木と村山亜土との「出会い」は、亜土の死後に始まります。《雉女房》(2005年)や《トコとキキとグーグー》(2004年)は、柚木が村山亜土の遺稿をもとに制作した絵本や水彩素描です。また、シリーズ《夜の絵》(2005年)では、小さな布のカラーズが言葉に触れ合うように施されています。光があとたたもなく消えてゆく夜への鎮魂が、「雨だれ」の響きとなって伝わってくるでしょう。

開館時間：午前9:30～午後5:00（ただし、入場は午後4:30まで）

休館日：月曜日（4月30日は開館）

観覧料：一般250円（団体150円）、20歳未満・学生150円（団体100円）、65歳以上と高校生100円

*（ ）内は20名以上の団体料金です。*中学生以下、障害者手帳をお持ちの方は無料です。

ファミリー・コミュニケーションの日：毎月第1日曜日（今回は5月6日、6月3日）は、18歳未満のお子様連れのご家族は優待料金（65歳以上の方を除く）でご覧いただけます。無料開館日 5月18日(金)「国際博物館の日」：この日は神奈川県立近代美術館で開催中の3つの展覧会を無料でご覧いただけます。



The Museum of Modern Art, Kamakura & Hayama
神奈川県立近代美術館

柚木沙弥郎氏によるアーティスト・トーク

5月12日(土) 午後3:00～4:00 申込不要・無料
(ただし展覧会の鑑覧券が必要です)

学芸員によるギャラリー・トーク

5月19日(土)、6月9日(土) 各午後2:00～2:30
申込不要・無料(ただし展覧会の鑑覧券が必要です)



主催：神奈川県立近代美術館

同時開催：神奈川県立近代美術館 葉山 Tel 046-875-2800 「光と影の生命 須田国太郎展 没後50年に顧みる」4月7日(土)～5月27日(日) 「生誕100年 松本竣介展」6月9日(土)～7月22日(日) 神奈川県立近代美術館 鎌倉 Tel 0467-22-5000 「石元泰博写真展 桂離宮 1953,1954」4月7日(土)～6月10日(日)

鎌倉別館への交通案内

公共交通機関利用の場合：JR横須賀線・江ノ島電鉄「鎌倉」駅下車、徒歩15分 [鎌倉館から徒歩5分] 横浜横須賀道路利用の場合：朝比奈インターチェンジから鎌倉霊園を経由して鶴岡八幡宮前へ約4.5km 〒248-0005 神奈川県鎌倉市雪ノ下2-8-1 2-8-1 Yukinoshita, Kamakura, Kanagawa 248-0005 Tel 0467-22-7718 <http://www.moma.pref.kanagawa.jp>



上3点：《夜の絵》(2005)より、中：型染布(1982)、下：型染布(2004)
表：《夜の絵》(2005)より